

# 第九の里 コンサート

平成26年8月3日（日）、鳴門市ドイツ館にて、第3回「第九の里コンサート」が開催されました。

大正時代、板東俘虜収容所に収容されていたドイツ兵俘虜と、板東の町の人々との間には、心温まる交流がありました。そして、1918年6月1日に、板東俘虜収容所内で、ドイツ兵俘虜によって、ベートーヴェンの「第九」交響曲が、アジアで初めて演奏されました。

この史実を「私たちの誇り」と思い「おもてなしの心」を子どもたちに受け継いでいきたい、という地元の方々の思いから、2年前よりこのコンサートが開催されています。



開会の挨拶  
(板東地区自治振興会文化部長 丸平氏)



鳴門市長挨拶



板東ゆたか保育園、板東みやま保育園の園児のみなさんによる合唱



堀江南小学校のみなさんによる  
リコーダー演奏



鳴門市大正琴研究会堀江教室の  
みなさんによる演奏



わらべの会のみなさんによる合唱



鳴門市板東小学校「Smily」の  
みなさんによる合唱



ドイツ館国際交流員のロバート・テルシグ  
さんによる「ベートーベンにまつわるお話」



音楽劇「バンドー少年物語」実行委員会のみなさんによる音楽劇



この後も、合唱団アンダンテのみなさんによる合唱、Nashville(ナッシュビル)のみなさんによるバンド演奏、NPO法人鳴門第九を歌う会合唱団「コーラス9(ナイン)」のみなさんによる合唱が続き、フィナーレに全員で「ふるさと」を合唱して、コンサートが幕を閉じました。

